

中学生の部 佳作

よりよい新中学校に

小牛田中学校 1年 阿部 真梨亜

私が考える理想的な学校は町の人達との交流があり、勉強に励むことができる学校です。これを実現させるために次の三つのことを考えました。

一つ目は、町民の皆さんも楽しめる展示スペースをつくることです。生徒の展示物や町民がつくったものを展示したり、見ることができるスペースです。私達の作品を見てもらったり、町民の作品を見て芸術にふれることで創造力がふくらみ、交流の機会をもつことができると考えます。しかし、問題は場所です。新小牛田中学校には、小牛田・不動堂・南郷と広い範囲のため、一カ所にすると一部の人達が遠くなり、気軽に行くことができなくなります。そこで、役場と連携し学校の展示スペースと連動させながら、展示物をスクリーンなどで見れるようにすればいいと考えます。そうすることにより、より多くの人に作品を気軽に見てもらう機会が増えると考えます。

二つ目は、自習室をつくることです。自習室は図書室や教室と違い、静かな空間だと考えます。図書室や教室は、雑音、声などで集中できないことがあります。自習室では、勉強する人だけの利用とすることで、集中して勉強に取り組むことができると考えます。また、パソコンを利用できるようにすることで分からない事があればすぐ調べることができるので便利になります。

三つ目は、自主学習を身につけることです。毎日少しでも勉強をすることにより学力がぐんと上がります。自主学習を身につけるために学級別で自学の1週間の提出率を競ったり1年間毎日提出した人に表彰するなど工夫をしてやる気を出させます。

これらのことを実現させることで、よりよい新中学校になると私は考えます。